



CREATE HOPE  
in the WORLD

### 世界に希望を 生み出そう

2023-2024 年度国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー  
会長 ゴードン R. マッキナリー  
\*\*\*\*\*  
国際ロータリー第2670地区  
ガバナー 吉岡 宏美

- ◆例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
- ◆例会場 香川県善通寺市文京町 3-3-3  
(事務所) 善通寺商工会議所 2F  
TEL(0877)62-7627 FAX (0877)62-7656  
E-mail zen-rc@downtown21.gr.jp  
WEB <http://www.downtown21.gr.jp/zen-rc>

- ◆会 長 香川 和久
- ◆幹 事 白川 等



### 2023-24年度【会長運営方針】

変化に挑戦し、新たな時代へ歩み出そう



総本山善通寺五重塔

### 幹事報告

\* 他クラブの例会変更は、後方のボードでご確認下さい。

### 出席報告 正会員数37名,名誉会員1名

(2023/9/13 現在) (出席免除会員(b)9名(a)1名)  
 11/22(2679 例会) 会員数 37名 出席会員 19名(6名)  
 欠席会員 9名  
 11/ 8(2676 例会) 会員数 37名 出席会員 18名(6名)  
 <修正>  
 メイクアップ 5名  
 安井一博、宮武宏行、野萱礼三郎、高畑光宏、高木誠一君  
 11/8 出席者 29名 出席率 87.88%  
 ビジター 0名

### 今月~来月の例会プログラム

- 11月 1日 客話 子ども安全ネット香川  
代表 弁護士 仙頭 真希子様
- 11月 8日 クラブ協議会
- 11月15日 卓話 岩野 健造会員  
(ロータリー財団担当)
- 11月22日 卓話 葛石 智会員
- 11月29日 新会員卓話 近藤 敏幸会員
- 12月 6日 クラブ総会

### お知らせ

☆ 香川県RC親睦ゴルフ大会及び第2回クラブコンペの結果

参加者8名 上位から高木誠一、前田純、高畑光宏、  
 近藤敏幸、浜崎達彦、白井 聡、岡崎圭介、橋本修洋  
 \* OUTスタート NO.9ドラゴン 浜崎達彦  
 \* 香川県G大会 団体戦は、10位

尚、組合せの方との写真はグループLINEにてお送りしています。



□ クラブコンペの結果  
 優勝 前田 純 準優勝 高畑光宏 3位 高木誠一

### ニコニコBOX

- 香川和久君：今日、59歳を迎えました。50歳最後の年を悔いのない様に歩いていきたいと思えます
- 高畑光宏君：11/12香川県RCゴルフコンペにご参加いただき有難うございました
- 寺嶋謙次君：米山功労者の表彰を頂きありがとうございます
- 高島弘武君：心温まるお見舞いを頂きまして有難うございます
- 葛石 智君：卓話を聞いて頂き有難うございました
- 高木誠一君：早退させていただきます



### ☆ 会長所感 ☆

- 一 きまりを守り、よい習慣を育てましょう
- 一 お互いを理解し、だれにも親切にしましょう  
 善通寺市民憲章より (目標2/5 \*先週分と合わせ全部で5つです)

### 四つのテスト

(言行はこれに照らしてから)

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

## 卓 話



葛石 智

本日は東京証券取引所への新規上場の話をしていただく機会をいただきありがとうございます。当社の上場に関わる内容はこれまでに新聞等にて記事を読んでいたということなので、今日のお話は記事以外の話をさせていただきます。

上場の準備に7年をかけてきたのですが、10年前位までは上場しようとは考えてもいませんでした。理由は経営的には鳴かず飛ばずで、顧客の広がりも限定的でしたので、心意気はありましたが、テーブルに載せるような状況ではなかったのです。しかしながら東京からベンチャーキャピタルが来社され、貴社のビジネスモデルは画期的で上場できる見込みがあるので出資させて欲しいとの話があったのです。著名なVCであったこともあり営業支援を受けることを条件として話に乗ることにした経緯があります。そこで最初に4000万円の資金を受けましたので、当時8名の会社であったものを、一挙に7名増員し、翌年も又10名採用したのです。そして2020年を上場年度と定め、大手の証券会社、大手の監査法人と契約を結び、4年間でマザーズに上場する計画としたのです。業績は順調で、東証1部上場の顧客が6社できるなど、高い成長を果たすことになりました。余談ですが、上場における定められた基準とは別に、上場の審査における資格要件がありまして、会社資産規模が100億円を超える会社は問われないのですが、上場する会社には年率20~30%の成長を3年間持続している事実が要求されます。したがって上場希望会社の3割程度しか実際には上場を果たせていないそうです。

順調に見えたプロセスが直前期になって当社のトップ顧客の離脱が発生したのです。元々ブローカー事業は自動車保険を取り扱うのはメインではなく、火災保険や賠償保険が主なのですが、行きがかり上で取り扱っていました。それは4000台近くの契約でしたから、約3億円がぶっ飛んだのです。よって5000万円ほどの大赤字となり、監査法人から上場なんてほど遠いと見切りをつけられ、証券会社ともども逃げられました。敵前逃亡と腹も立ちましたが、これこそが現実の世界と再認識し、大手と言われる泥棒会社は信頼しない、身を預ける機関ではないと肝に命じる出来事でした。

そこで3ヶ年計画を立て、不安定な手数料ビジネスからフィービジネスに舵を切り直しました。3年で30%のウェイトを目指し挑戦したところ、好評を受け、48%を占めるまでに成長したのです。顧客もほぼ全国に拡大したこともあり、結果として上場に漕ぎつけることが出来ました。コストは7年間で1億5000万円弱掛かっています。

なぜPROマーケットかと言えば、一般市場に比べて、上場会社に義務付けられる上場基準に拘束されないこと、今の株価が低い評価であったことの2点に拠るものです。ただ、株の売り買いがプロに限られますので、市場性があまりないのが欠点とされていますが、オーナーにとっては安心感が高く、株主にとっては売買利便性が悪いと言えます。株価が低いのは私の経営の舵取りによるところで、これまで利益が出そうであれば社員を増加させてきたことに拠ります。一方で、長きに渡り無配であった為、出資いただいた株主には申し訳なく思っている次第です。

東京証券取引所における上場セレモニーについてお話しますと、今日、小槌をお持ちしたのですが、立派な箱に収められた一品で、これで上場の鐘を打ちます。回数は5回と定まっています、その上、打つ人は10人以内と定められています、当社は2人一組にて5回、計10人で打ち、人生で滅多とない機会を味わうことが出来ました。

私たちの会社は世界に通用する保険ブローキング事業をするブローカー会社を目指していますので、今回の上場はそのための1歩としています。私はあと何年仕事ができるかわかりませんが、とにかくやり切る覚悟をしていますので、引き続きご支援いただければ幸いです。ご清聴ありがとうございました。

## 米山功労者表彰



会長より高島会員へ  
お見舞い金を



寺嶋謙次会員

2023.11.6

米山記念奨学会の  
感謝状を会長より

